



令和6年2月15日
第499号
新発田市立東豊小学校

ホームページ <http://toho.shibata.ed.jp>

助け合って生きる～象とキリン～

校長 飯塚 進

6年生の長縄大会を見ている時のことです。6年担任が次のようなことを子どもたちに語りかけていました。

「私は、長縄跳びが得意です。だから、長縄跳びを長い時間練習していても苦痛ではありません。でも私はピアノが苦手です。何時間も練習していたら、つらくなります。人はそれぞれ得意、不得意があります。これから長縄大会を行います。が、苦手な人もいることを忘れてはいけません。そういう人の気持ちも分かったうえで、助け合って一生懸命やってほしいと思います。」

子どもたちは真剣に聞いていました。この話を聞いて、私はある話を思い出しました。それは象とキリンの話です。

象の特徴は、やはり長い鼻です。物をつかむことができるし、食べ物をつかんで口に運ぶことができます。また、匂いを嗅ぐ力は犬よりもあるそうです。だから、自分を食べようとする肉食動物が近づいてくると匂いで分かるのです。象の特徴のもう一つに大きな耳があります。この大きな耳のおかげで、遠くにいる肉食動物や仲間の象の声も、いち早く聞こえるそうです。

一方、キリンの特徴は、長い首です。首が長いし、舌も長いので、他の動物が食べることができない高い木の葉っぱなども食べることができます。また、首が長く、遠くまでよく見えるために、肉食動物が近づいてくるのが分かります。

この象とキリンは仲良く一緒にいることが多いというのです。それは一体なぜなのでしょう。前述のそれぞれの特徴から考えると、肉食動物が近づいてきて、匂いや音で分かったときは、象が逃げます。その姿を見て、キリンが気づき、逃げるすることができます。

また、キリンが遠くにいる肉食動物を発見した場合は、キリンが逃げます。その姿を見て、象が危険に気づき、逃げることもできるのです。つまり、象とキリンは助け合って生きているとっていいかと思います。

子どもたちはどうでしょうか。一人一人に違ったよさがあります。一人で何でもできる人はあまりいないと思います。だから、子どもたちも、ぜひお互いに助け合って生活してほしいと思っています。このことは我々大人も一緒だと思います。

ちなみに、長縄大会では、6年生はもちろん、どの学年の子どもたちも、引っかかってしまった子どもに「ドンマイ！」などの温かい声をかけていました。